

職場体験活動

すずき果樹園

行った作業

僕は「すずき果樹園」さんで職場体験をさせて頂きました。

まず初めに、りんごの摘果作業をしました。初日は綺麗に取れなかったり余計なところも一緒に取ってしまったりしましたが、二日目は余計な物だけを落とすとして綺麗に摘果出来ました。

次に桃の袋掛けを行いました。これは三日目から行いましたが、仕事にも職場の雰囲気にも慣れてきて前日よりスムーズに進んだと思います。五日間を通して、この作業が一番難しく、大変だったように思います。

最終日は、桃の商品化作業を行いました。二人ずつ三組に分かれて、選別作業、梱包箱の組み立て、袋詰めを行いました。僕は選別作業をしたのですが、全て機械が重さによってグループ分けをしていたので、選ばれた桃を傷つけないように梱包しました。



二年組番

氏名

職場体験を通して学んだこと

職場体験で学んだことは礼儀と仕事の過酷さです。

礼儀の面では毎朝の「おはようございます」「頼み事があるときの「お願いします」それを受け入れてくれたときの「ありがとうございます」を言います」を言う大切さを学びました。

仕事の過酷さは、一日中神経を使うので、心身ともに毎日クタクタで帰ってきていました。ただその中で、仕事をやり終えたときの達成感が初めての感覚でした。

礼儀の大切さも仕事の過酷さもどちらも職場体験を通しての貴重な体験になりました。



感想

今回の職場体験させて頂いた、すずき果樹園さんは、元々第一候補ではなかったが、前日までは正直あまりやる気が起きなかったのですが、五日間お仕事をさせて頂き、仲間と共に作業するうちに、この果物が多くの人に食べて頂くまでの工程がこんなに沢山あり、大切に扱われていると知り、大変感動しました。

日頃、何気なく自分達が口にしているものに対して、今まで以上に感謝しなくてはいけないなということを感じる事が出来、すずき果樹園さんで働かせて頂き、本当に良かったと思いました。

これから給食で出てくる食べ物も、家で出てくる食べ物も、作っている方々の気持ちや少し分かる事が出来たので、見方を変えていきたいです。

体験を振り返って

初めて働くということを体験して、一番はお金を稼ぐということは本当に疲れると学びました。改めてお父さん、お母さんにありがとうを伝えたいと思いました。体験できて本当に良かったです。